



健康保険委員研修会
令和3年11月25日

肝炎ウイルス検査について

千葉県健康福祉部疾病対策課

千葉県健康福祉部疾病対策課



本庁舎11階

難病・アレルギー対策班
難病審査班
感染症予防班
感染症医療班



- 感染症に関する医療体制の整備に関すること
- 結核対策に関すること
- 結核発生動向調査の実施に関すること
- 結核に関する医療体制の充実に関すること
- **肝炎対策に関すること**



**肝炎ウイルスの感染者の早期発見・早期治療開始
肝硬変又は肝がんへの移行者を減らすこと**

千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業

「千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業実施要綱」（平成27年10月1日施行）

1 目的

千葉県における肝炎ウイルス検査受検後のウイルス性肝炎陽性者等を早期に治療に繋げ、重症化予防を図ることを目的とする。

2 実施主体

千葉県

3 実施事業

(1) 陽性者フォローアップ事業

県が実施する特定感染症検査事業における陽性者が対象者

(2) 検査費用助成事業

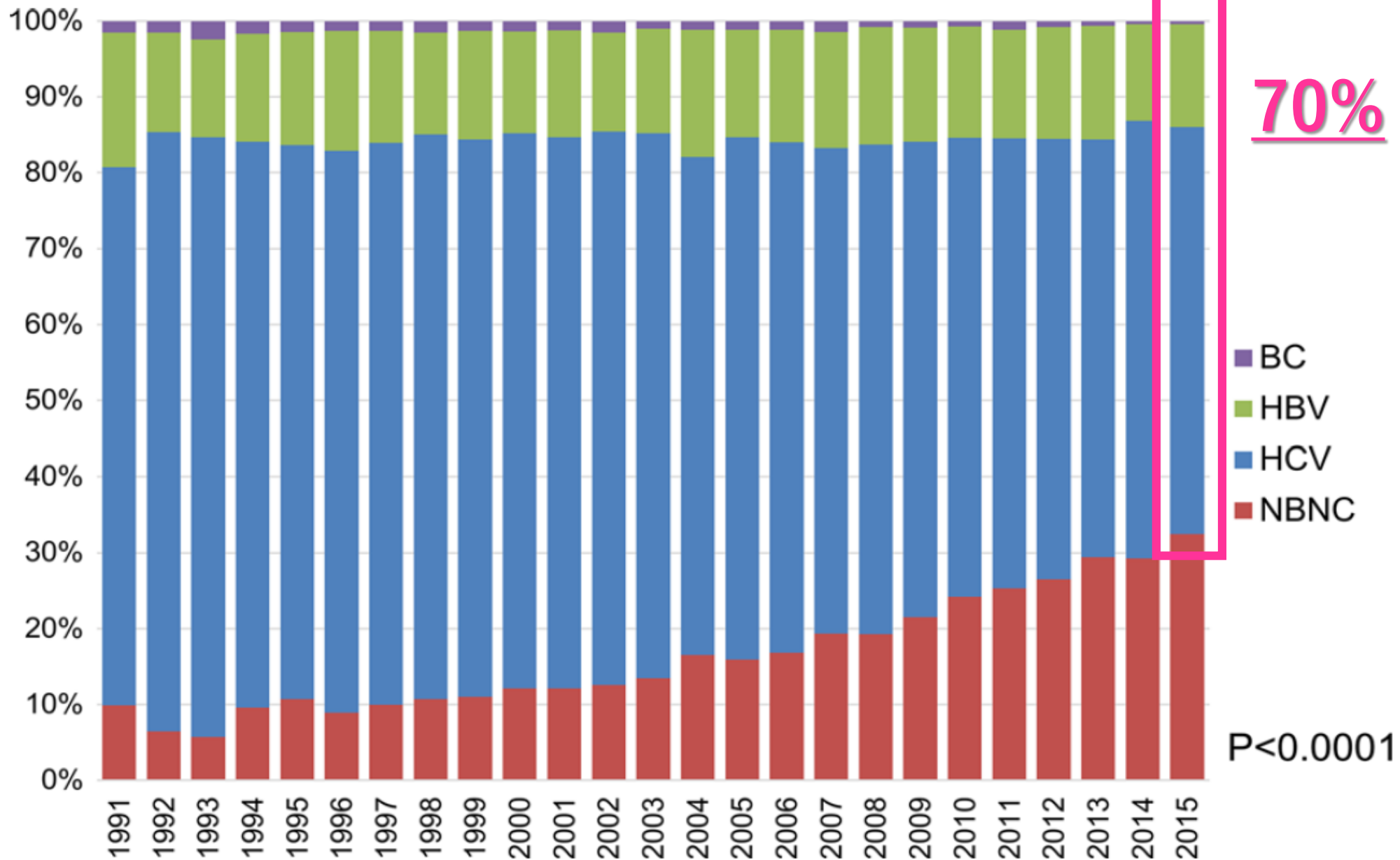
初回精密検査費用、定期検査費用

(3) 職域検査促進事業

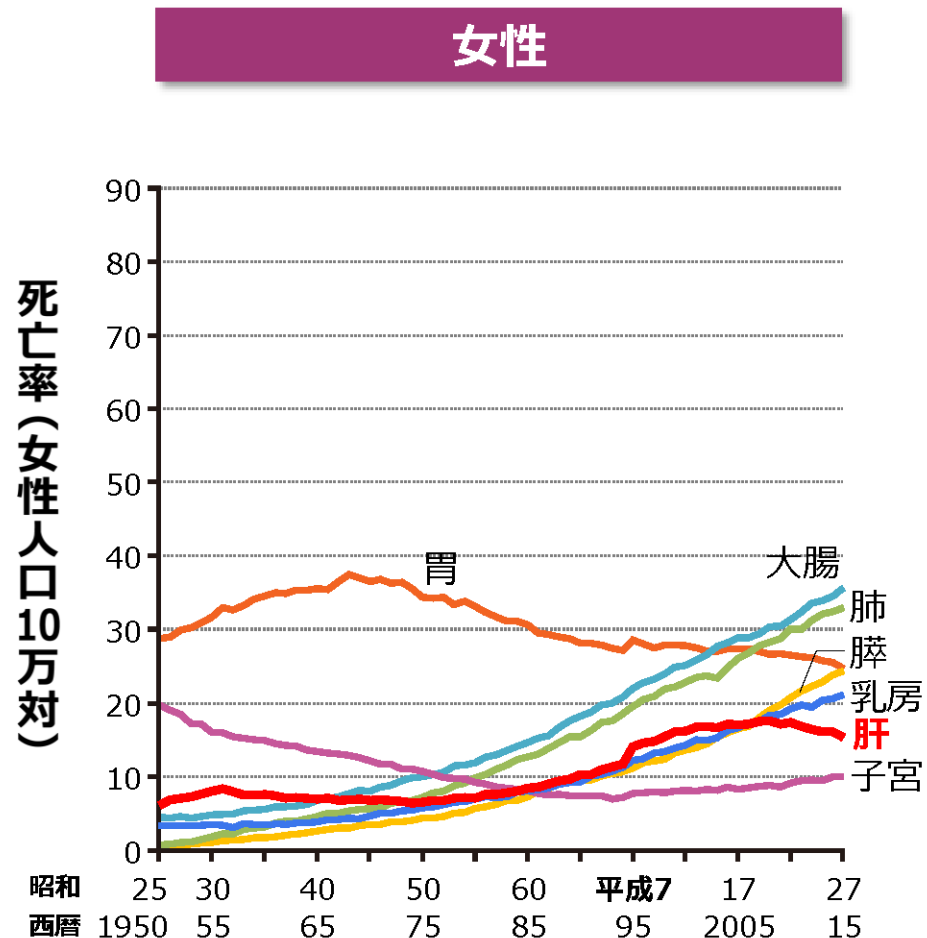
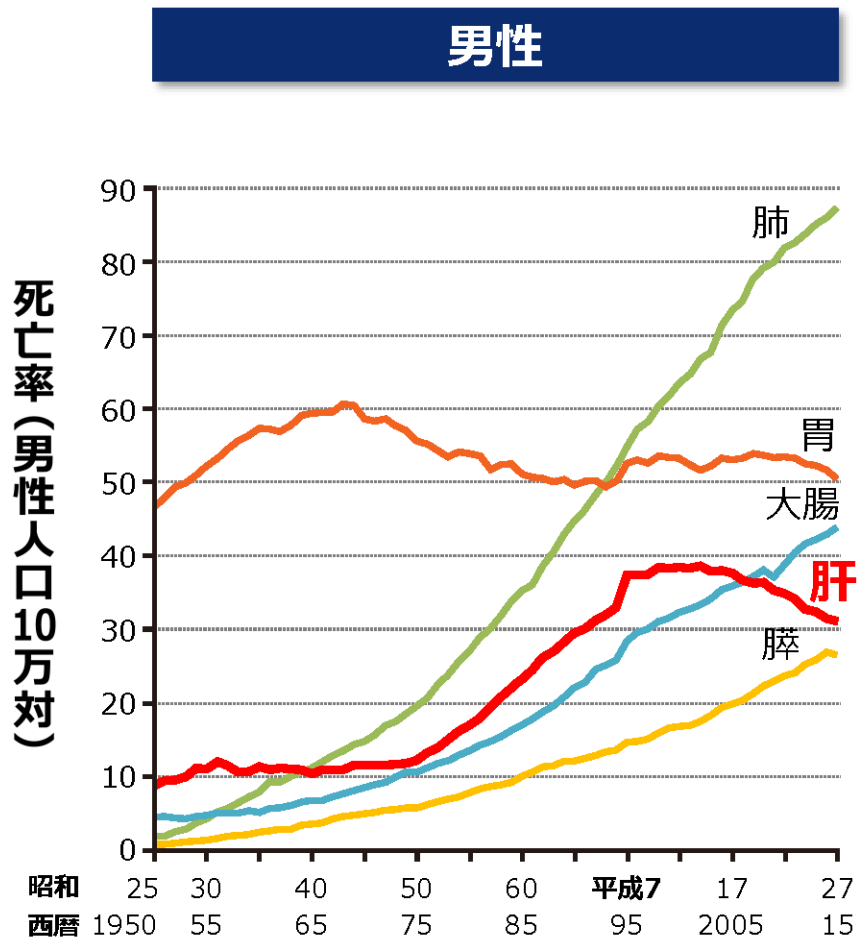
職域での肝炎ウイルス検査への勧奨

（職域検査促進事業は平成29年8月14日に追加）

年々の減少も、未だに肝がんの70%が肝炎ウイルス陽性



性・部位別がん死亡数の年次推移



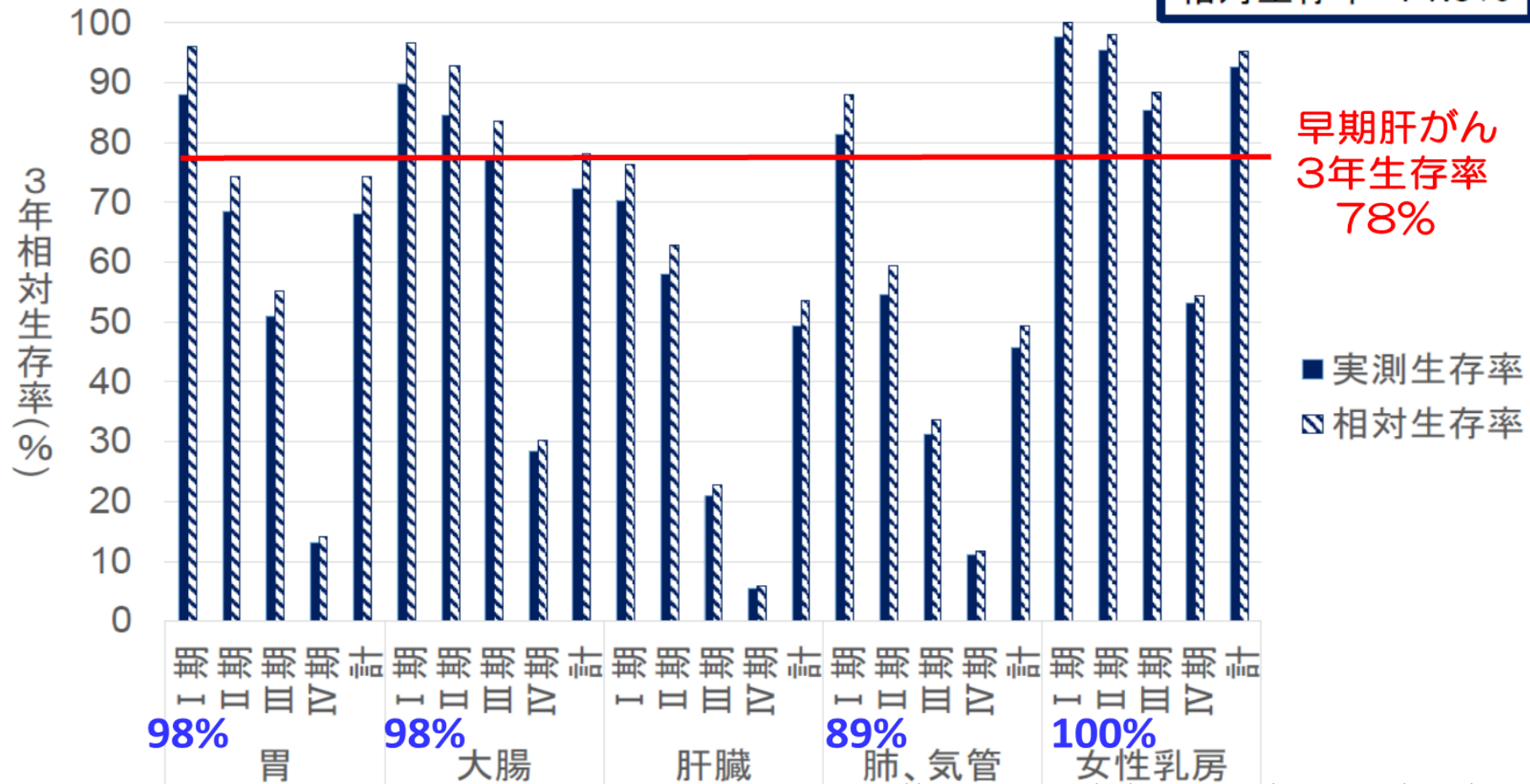
年間新規患者は4.1万(男2.7万, 女1.4万)
死者は2.7万人(2017年)

肝がんは早期発見しても、生存率は80%未満 できてはいけない癌

がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 2011年3年生存率集計

主要5部位の病期別生存率

全がん
実測生存率 66.3%
相対生存率 71.3%



長期生存すれば医療費はかかります⇒ウイルスを排除し、

2 (2) 肝硬変・肝がんを発症を抑制した方が医療費軽減

▶ 平成27年度において、治療が行われた月の1人あたり平均医療費は、下表のとおり。

	B型肝炎によるもの			C型肝炎によるもの		
	代償性肝硬変	非代償性肝硬変	肝がん	代償性肝硬変	非代償性肝硬変	肝がん
1人あたり月平均医療費	9.8万円	17.1万円	19.9万円	22.0万円	24.4万円	26.6万円
入院	55.5万円	55.8万円	61.7万円	60.9万円	58.3万円	58.8万円
入院外	7.1万円	9.4万円	10.4万円	17.7万円	16.2万円	15.8万円

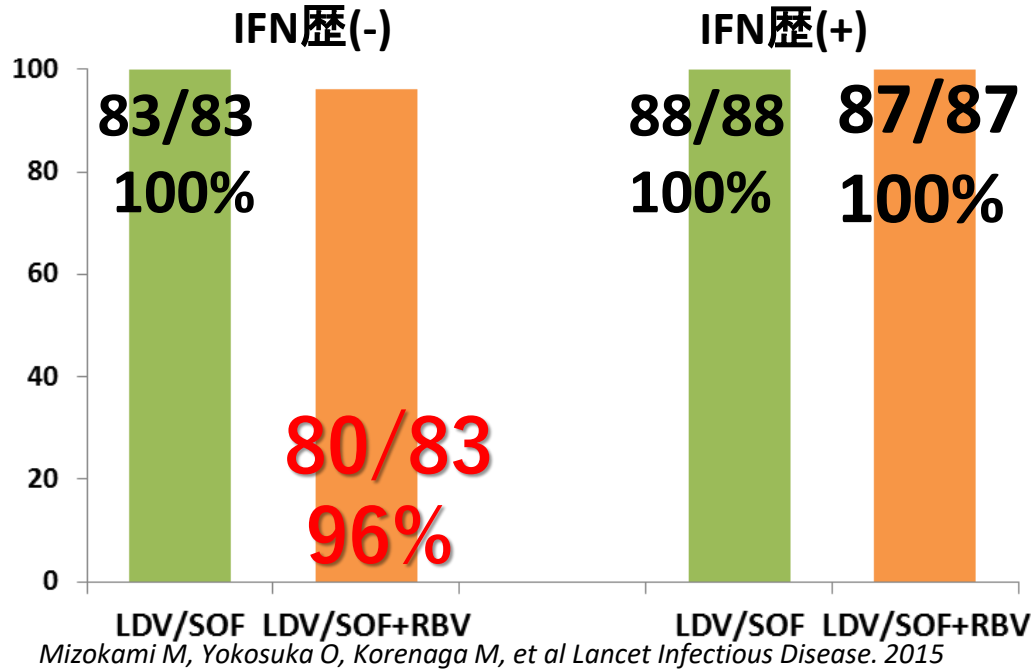


分子標的薬 (及び新規薬剤)

ネクサバル錠200mg (4677円) 4tab/日 ⇒ 約52万円/月 + 副作用
 オプジーボ(体重60kg) ⇒ 約1700万/年間

1日1回 8~12週間内服するだけ ほぼC型肝炎を排除可能

LDV/SOF+RBV 本邦未承認レジメン



ウイルス排除率
= 338/341 (99%)
 再燃は1例のみ (2例は中止例)



2cmの経口剤

20150901使用可能

B型肝炎も1日1回の内服でウイルスが減少 (内服継続が必要)



高齢者でも治療可能
会社を休む必要なし！！

Global Health and Medicine



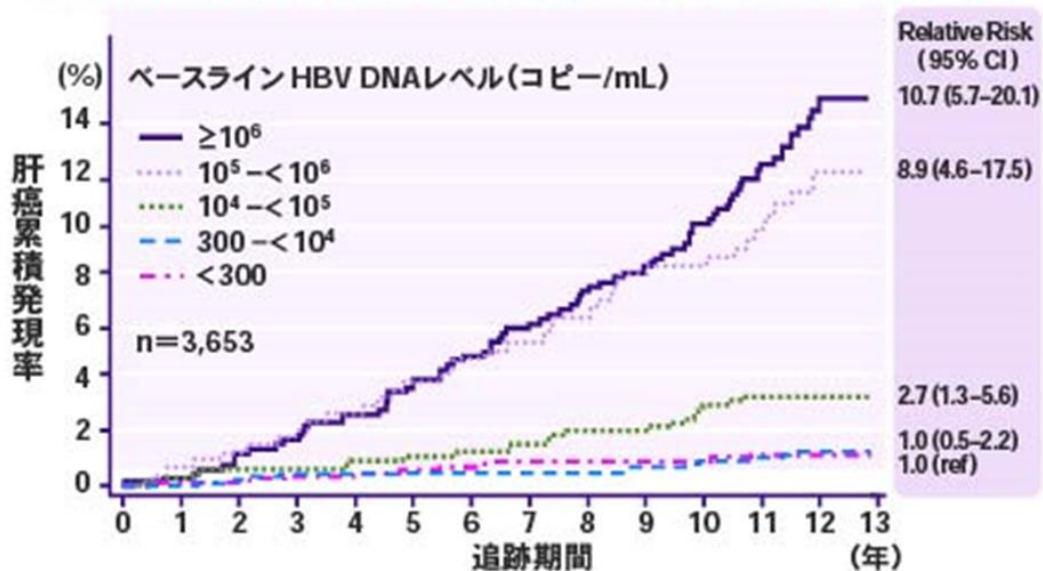
Research Center for Hepatitis and Immunology

早期に肝炎ウイルスを見つけて適切な治療を受ければ肝がんは防げる 予防という究極の両立支援

HBV DNA量と肝癌発現率

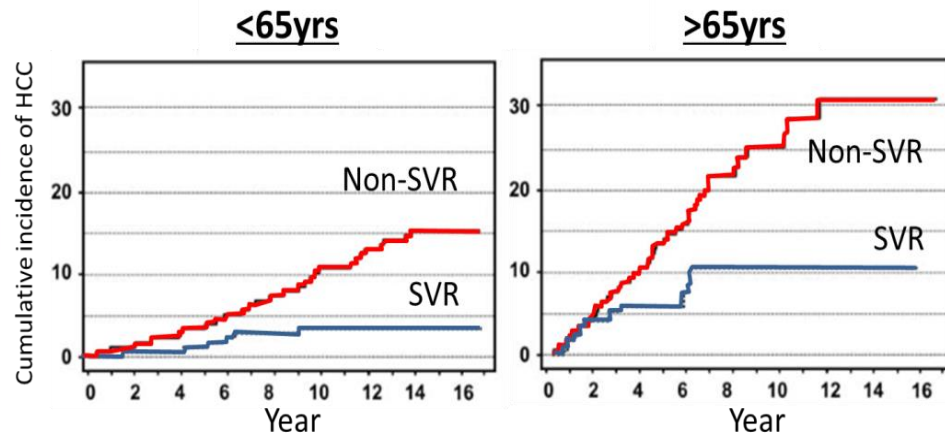
R.E.V.E.A.L 試験結果

ウイルス量を低く保てば、発癌率を低く抑えることができる



Chen, CJ et al.: JAMA 295 (1): 65-73, 2006

C型肝炎ウイルスを排除すると 約1/5発癌率は低下する



Risk factors of post-SVR HCC

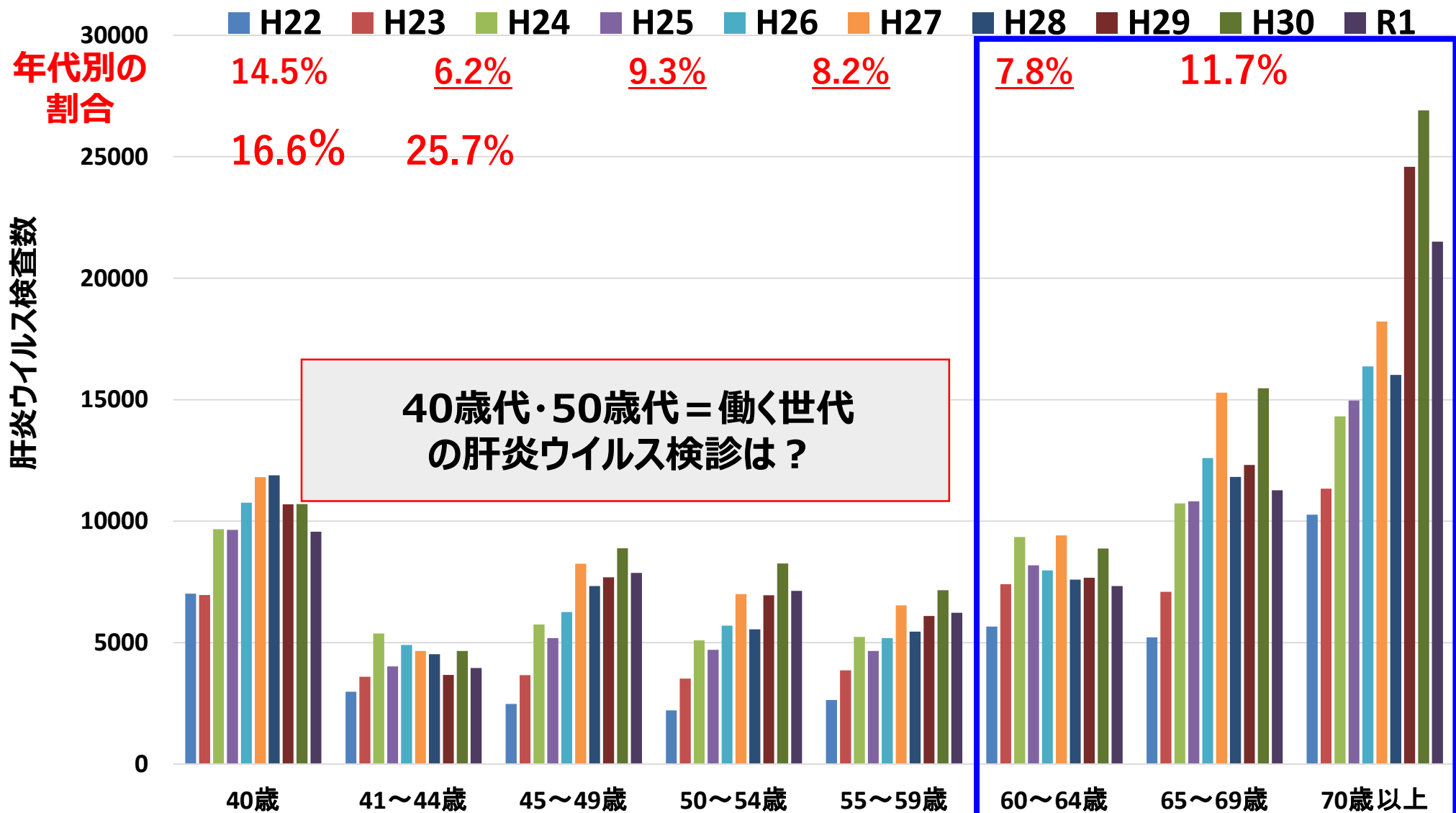
- Age
- Steatosis

SVR(持続ウイルス排除)

ウイルス排除後も高齢・脂肪肝は発癌に注意

2010年以降千葉県健康増進事業における肝炎ウイルス検査の推移(HBV)

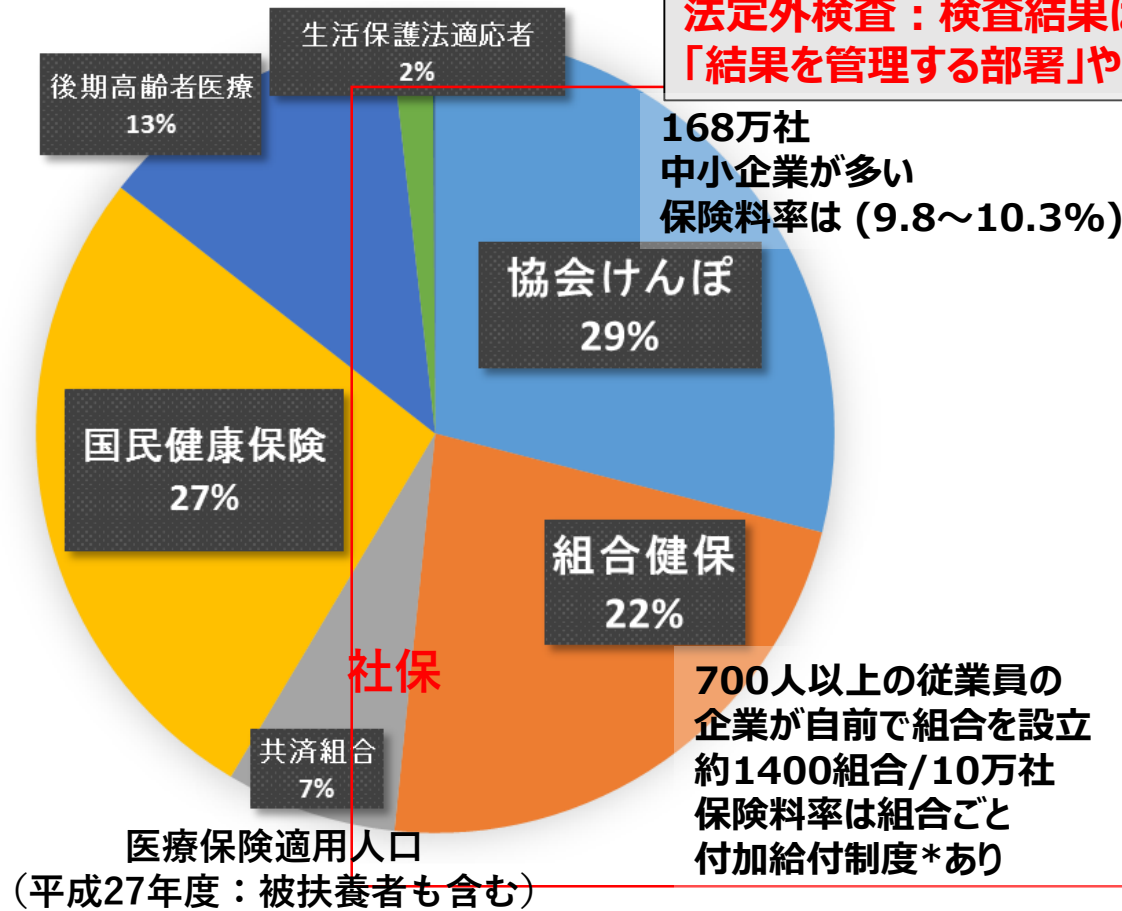
肝炎ウイルス検診の受検者は60歳以上で50%以上を占める



職域とは：全国健康保険協会(協会けんぽ)と組合健保

→肝機能は項目だが、肝炎ウイルス検査は含まれていない

肝炎ウイルス検査は法定外検査・検査結果を本人許可なく事業所(産業医も含)が知ることはできない



法定外検査：検査結果は本人のみへ・指導を行うためには受検前から「結果を管理する部署」や「陽性時の勧奨方法」を受検者に告知する必要

法定外事項	受診者が任意で選ぶ健診 (オプション検査として受診者が自ら選ぶ健診項目) 肝炎ウイルス検査 など
	保険者等が費用補助対象としている健診 (人間ドックにメニューとしてセットされている健診項目) がん検診など
法定事項	安全衛生法第66条第2項及び第3項に規定する健康診断 (有害業務に従事する人に対する健診) 安全衛生法施行令で定める業務に関連する検査項目等
	安全衛生法第66条第1項に定める一般健康診断 ①既往歴・業務歴②自覚症状・他覚症状 ③身長、体重、腹囲、視力、聴力 ④胸部X線、喀痰検査⑤血圧⑥貧血 ⑦肝機能 (ALT, AST, γ -GTP) ⑧血中脂質(LDL,HDL,TG) ⑨血糖 ⑩尿検査 ⑪心電図

付加給付*：一般に1カ月の自己負担額は2万5千円が上限
(健保組合によって異なる)

法定事項：就労に影響する項目で設定

職域での肝炎ウイルス検査受検率(2016年)

健診医療機関121施設（約1,000万人以上が検診を受検）から84施設での実数調査

定期健康診断時あるいは人間ドックを定期健康診断としている労働者

	全年齢			40歳以上		
	男性	女性	全員	男性	女性	全員
組合健保						
健康診断受検者数 (人)	1,129,553	640,682	1,770,235	661,094	372,664	1,033,758
HBs抗原検査受検者数 (人)	86,291	51,936	138,227	65,277	35,777	101,054
HBs抗原検査受検率 (%)	7.64	8.11	7.81	9.87	9.60	9.78
95%信頼区間 (%)	7.59-7.69	8.04-8.17	7.77-7.85	9.80-9.94	9.51-9.69	9.72-9.83
HCV抗体検査受検者数 (人)	52,729	34,561	87,290	38,716	22,487	61,203
HCV抗体検査受検率 (%)	4.67	5.39	4.93	5.86	6.03	5.92
95%信頼区間 (%)	4.63-4.71	5.34-5.45	4.90-4.96	5.80-5.91	5.96-6.11	5.87-5.66
協会けんぽ						
健康診断受検者数 (人)	607,552	308,327	915,879	450,293	225,093	675,386
HBs抗原検査受検者数 (人)	18,230	15,393	33,623	14,928	11,866	26,794
HBs抗原検査受検率 (%)	3.00	4.99	3.67	3.32	5.27	3.97
95%信頼区間 (%)	2.96-3.04	4.91-5.07	3.63-3.71	3.26-3.36	5.18-5.36	3.92-4.01
HCV抗体検査受検者数 (人)	14,052	12,916	26,968	11,255	9,856	21,111
HCV抗体検査受検率 (%)	2.3	4.2	2.9	2.5	4.4	3.1
95%信頼区間 (%)	2.28-2.35	4.12-4.26	2.91-2.98	2.45-2.55	4.29-4.46	3.08-3.17

組合健保(4~9%, HBs抗原受検率高)・協会けんぽ3%

協会けんぽ肝炎ウイルス検査受検数の推移

2008年から被保険者の希望者に開始 約150万人受検も加入者は3,500万人以上
(被保険者でも約2,200万) ⇒協会けんぽにおける検査促進は急務

年	肝炎ウイルス検査 受検者数	肝炎ウイルス検査 累積受検者数
2008	253,840	253,840
2009	203,213	457,053
2010	194,268	651,321
2011	167,451	818,772
2012	156,364	975,136
2013	147,734	1,122,870
2014	143,916	1,266,786
2015	146,077	1,412,863
2016	137,382	1,550,245

受検総数は約3,500万人加入の約5%

⇒ 陽性率/受診率は不明であり、被扶養者は受検の機会がない

検査申込書を簡便化し、**ナッジ**(=自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるように手助けする政策手法) 効果で受検数が促進しないか？

2016年まで

740語

被保険者の皆様

肝炎ウイルス検査は お済みですか？

C型肝炎は、C型肝炎ウイルス（HCV）の感染によって起こる肝臓の病気です。肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ自覚症状が現れにくいので、つい見過ごしてしまいがちですが、感染したまま放置すると、本人が気付かないうちに肝硬変や肝がんへと進展する場合がありますので、「早期発見・早期治療」を行うことが重要です。

協会けんぽでは、過去にC型肝炎ウイルス検査を受けたことがない被保険者の方を対象に、生活習慣病予防健診と併せて肝炎ウイルス検査※を実施しています。HCVは、輸血や手術の経験がない方でも感染している可能性がありますので、積極的に受診されることをお勧めします。

詳しくは、生活習慣病予防健診の実施機関窓口にお気軽にお問い合わせください。

※ 検査は、C型と同時にB型の肝炎ウイルス検査も行っています。

対象者

次の①・②のどちらかに該当する方が受診できます。

- ①協会けんぽの生活習慣病予防健診の一般健診を受診される方。
- ②協会けんぽの生活習慣病予防健診の一般健診を受診された方のうち、健診結果において、GPTの値が36U/l以上であった方。

※過去にC型肝炎ウイルス検査を受けたことがある方は受診できません。

検査費用

費用の70%を協会けんぽが補助します。

✓自己負担額は最高612円で受診できます。

申し込み方法

✓直接、健診機関の窓口へ提出してください。
(裏面が申込書になっています。)

C型及びB型肝炎に代表されるウイルス性肝炎は国内最大級の感染症ともいわれ、持続感染者は、C型が190万人～230万人、B型が110万人～140万人存在すると推定されています。肝炎ウイルスの感染経路は様々であり、本人の自覚なしに感染している可能性がありますので、まずは、検査を受けることが重要です。

協会けんぽにご加入の皆様へ

280語

肝炎ウイルス検査 (1/3減少) 実施のお知らせ

協会けんぽの健康診断では、生活習慣病予防健診と同時に、肝炎ウイルス検査を実施しております。

通常2,040円の検査が**612円で受けられます**ので、ぜひこの機会に受けてください。

(※) 過去にc型肝炎ウイルス検査を受けたことがある方は受診できません。

肝炎ウイルス検査 実施概要

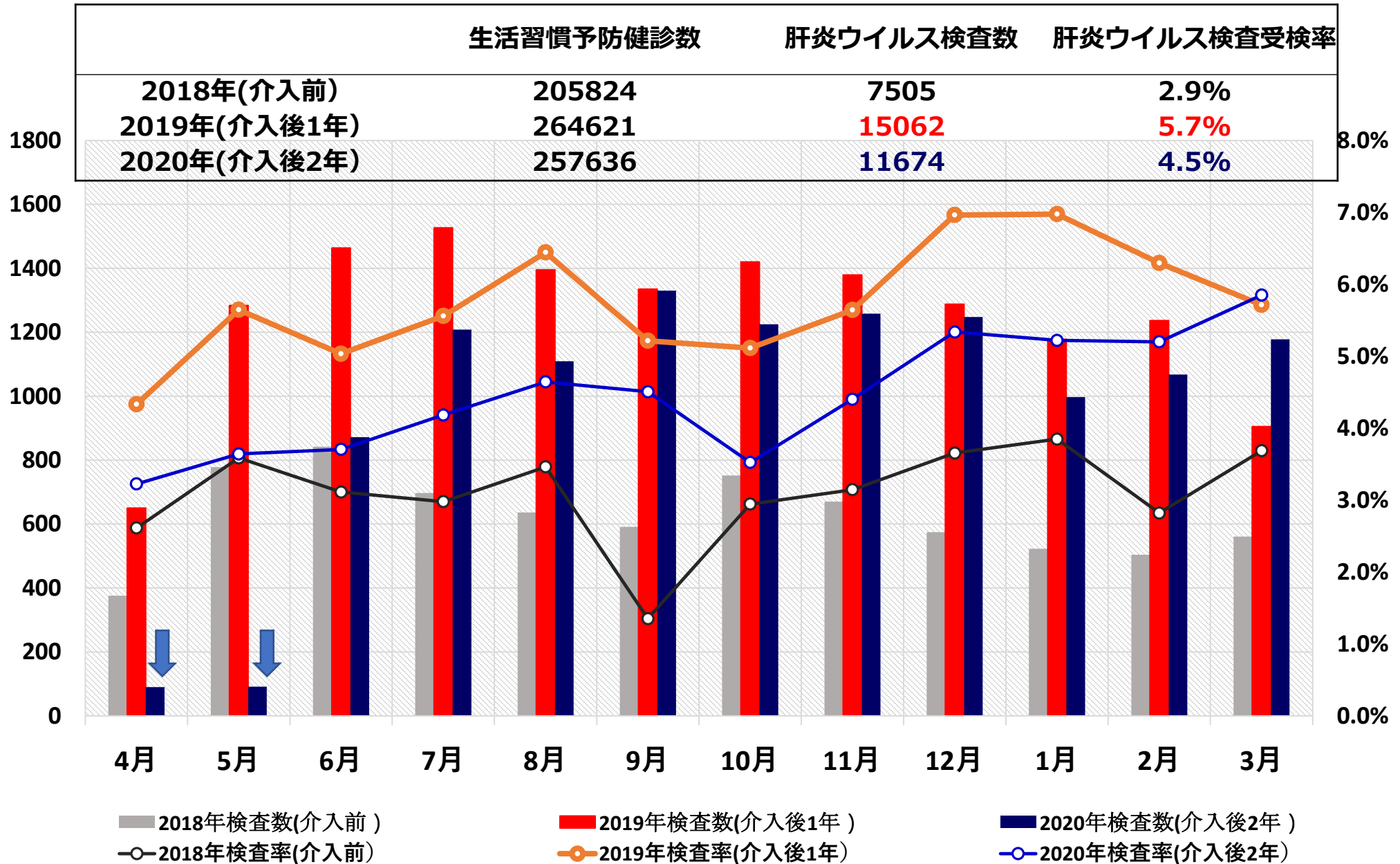
検査費用：~~2,040円~~ → **612円**

申込方法：裏面をご記入ください。

検査方法：
一般健診の採血の際に、同時に採血をします。
特別な検査は必要ありません。

検査を希望する方は、裏面をご記入の上、
一般健診受診の際に、受付にご提出ください。

協会けんぽ千葉支部における肝炎ウイルス検査受検勧奨とその後 ～介入前は3%→介入後約2倍上昇 2年経過しても効果が持続～



本年度から協会けんぽ本部作成の受検票が変更

協会けんぽにご加入の皆様へ

肝炎ウイルス検査 実施のお知らせ

協会けんぽの健康診断では、生活習慣病予防健診と同時に、肝炎ウイルス検査を実施しております。

通常2,040円の検査が**612円**で受けられますので、ぜひこの機会に受けてください。

(※) 過去にC型肝炎ウイルス検査を受けたことがある方は受診できません。

肝炎ウイルス検査 実施概要

検査費用：~~2,040円~~ → **612円**

申込方法：裏面をご記入ください。

検査方法：
一般健診の採血の際に、同時に採血をします。
特別な検査は必要ありません。

検査を希望する方は、裏面をご記入の上、
一般健診受診の際に、受付にご提出ください。

被保険者の皆様！ 肝炎ウイルス検査を 受けましたか？

協会けんぽでは、過去にC型肝炎ウイルス検査を受けたことがない被保険者の皆様を対象に、生活習慣病予防健診と併せて肝炎ウイルス検査を実施しています。自覚症状がない方や、輸血や手術の経験がない方も、積極的に受診されることをお勧めします。

詳細は、生活習慣病予防健診の実施機関窓口までお気軽にお問い合わせください。

検査費用はどれくらい？



対象者はどんな人？

次のどちらかに該当する方が受診できます。

- 1 協会けんぽの生活習慣病予防健診（一般健診）をこれから受診される方。
- 2 協会けんぽの生活習慣病予防健診（一般健診）を受診された方で、健診結果のGPTの値が36U/l以上であった方。

ただし！ 過去にC型肝炎ウイルス検査を受けたことがある方は、受診できません。

どうやって申し込むの？

- 裏面の申込書を、健診機関の窓口へ直接提出してください。
上記②に該当する方は、「生活習慣病予防健診結果通知票」もご持参ください。

ウイルス性肝炎は、国内最大級の感染症です。
まだ受診されたことのない方は、早期発見・早期治療のため、
まずは、検査を受けてください！

千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業

「千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業実施要綱」（平成27年10月1日施行）

1 目的

千葉県における肝炎ウイルス検査受検後のウイルス性肝炎陽性者等を早期に治療に繋げ、重症化予防を図ることを目的とする。

2 実施主体

千葉県

3 実施事業

(1) 陽性者フォローアップ事業

県が実施する特定感染症検査事業における陽性者が対象者

(2) 検査費用助成事業

初回精密検査費用、定期検査費用

(3) 職域検査促進事業

職域での肝炎ウイルス検査への勧奨

（職域検査促進事業は平成29年8月14日に追加）

職場での肝炎ウイルス検査を受けた皆様へ



ホームページ

千葉県では初回精密検査費用の

助成制度を実施しています！

この機会に、専門医に受診しましょう！

・肝機能検査で異常値が出た方も、この機会に精密検査を受診しましょう。

*肝機能検査…AST(GOT),ALT(GPT),γ-GT等の検査項目

※平成31年4月1日以降に受診した初回精密検査が助成対象です。

初回精密検査費用の助成とは

概要：

職場での肝炎ウイルス検査の結果、HBs抗原(+)又はHCV抗体(+)となった方が、初回精密検査を受診した場合、検査費用の助成を受けられる場合があります。

助成を受けると、血液化学検査、腫瘍マーカー、超音波検査等の約8,500円分*の検査を無料で受診することができます。

*保険負担割合が3割の方が、助成対象となる検査項目を全て受診した際の検査費用の目安です。

請求期限：

職場での肝炎ウイルス検査の結果通知日から1年以内に受診し、請求したものが助成対象です。
(償還払い)

対象の要件：

「千葉県に在住していること」「千葉県肝炎患者特定医療機関で受診した初回精密検査であること」など、助成を受けるには、一定の要件があります。

詳しくは、下記お問合せ又は県HPでご確認ください。

千葉県肝炎患者特定医療機関
はこちら▶



【お問合せ】

【千葉県HP】

千葉県疾病対策課
(☎043-223-2665)



※「千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業
(フォローアップ事業、精密検査費用助成事業)」
のページ

○各自治体別に、同様に初回精密検査費用の助成を実施しております。詳しくは、お住いの自治体にお問合せ又はHPをご覧ください。

東京都
疾病対策課
(☎03-5320-4476)



埼玉県
疾病対策課
(☎048-830-3598)



群馬県
保健予防課
(☎027-226-2008)



神奈川県
がん・疾病対策課
(☎045-210-4795)



茨城県
疾病対策課
(☎029-301-3220)



栃木県
健康増進課
(☎028-623-3089)



千葉県が実施する検査費用助成制度について



定期検査費用を助成します。

肝炎ウイルスの感染を原因とする慢性肝炎・肝硬変・肝がんの治療後、経過観察で受けた定期検査費用です

対象者：①②の両方にあてはまる方

①肝炎ウイルスの感染を原因とする慢性肝炎、肝硬変又は肝がんの患者で指定医療機関で定期検査を受けた方（治療後の経過観察を含む）

②市町村民税（所得割）の世帯課税年額が、23万5千円未満の方

※肝炎治療特別促進事業の受給者証が有効期限内の方は対象外です。

請求期限：検査を受けた日の年度末まで（年2回まで）

対象となる費用 ※文書料、選定療養費等は対象外です。

①初診料又は再診料	○血液形態・機能検査
②ウイルス疾患指導料	○出血・凝固検査
③右記の検査に関連する費用として千葉県が認め た費用	○血液化学検査
	○腫瘍マーカー
	○肝炎ウイルス関連検査
	○微生物核酸同定・定量検査
	○超音波検査※

※肝硬変・肝がんの場合は、超音波検査に代えてCT撮影又はMRI撮影も対象

助成金額

階層区分	自己負担額(1回につき)	
	慢性肝炎	肝硬変・肝がん
市町村民税(所得割)課税年額が235,000円未満の世帯に属する方	2,000円	3,000円
住民税非課税世帯に属する方	0円	0円

市町村民税の世帯課税額が23万5千円以上の方でも、同一世帯で扶養に入っていない方がいる場合、助成を受けられる場合がありますので裏面をご覧ください。

ご清聴ありがとうございました

御質問等がありましたら下記までお願いいたします。

千葉県健康福祉部疾病対策課
感染症医療班
TEL : 043-223-2665

